

「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
結果（概要）

1. 「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果

図1 不登校児童生徒の推移

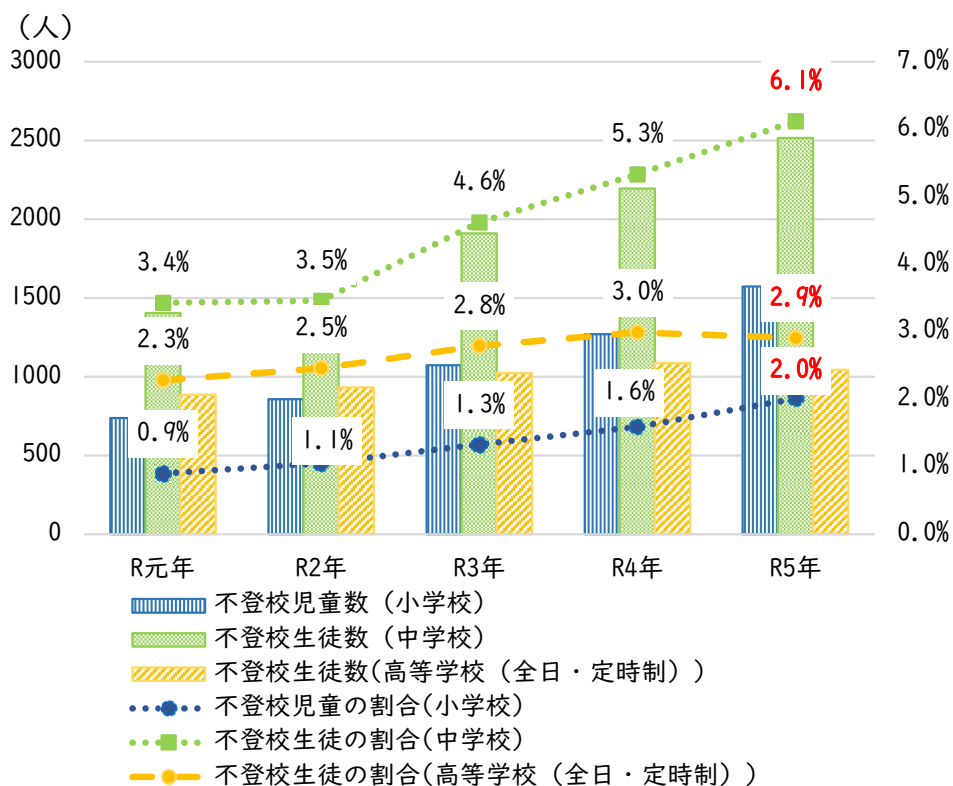


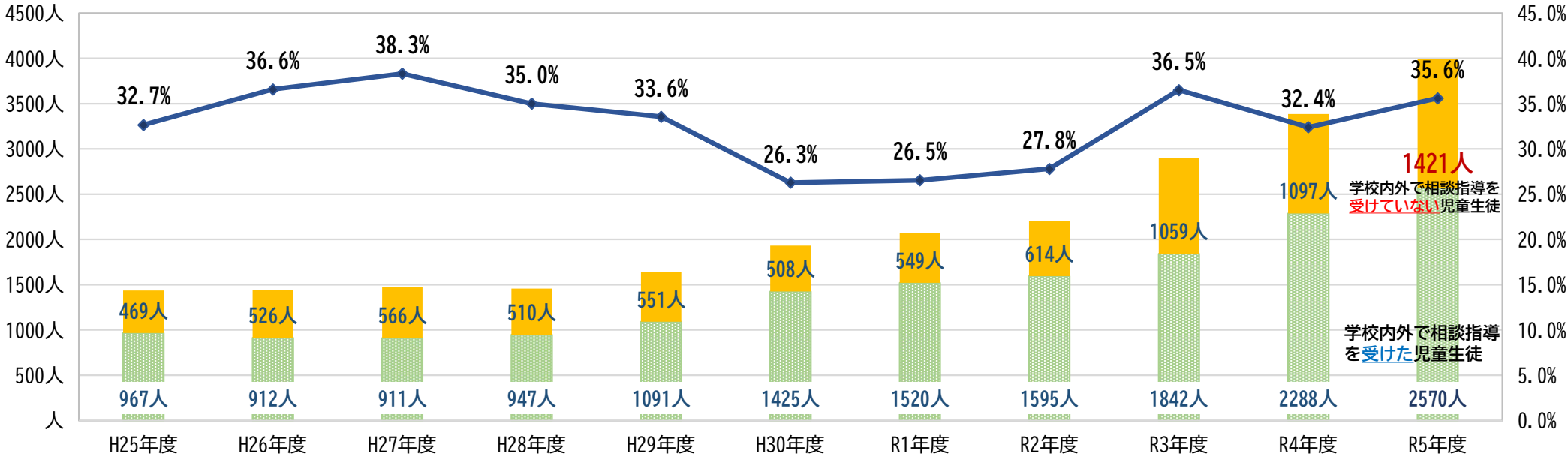
表1 不登校児童生徒の推移

	不登校	うち、 50日以上欠 席	うち、 90日以上欠 席	うち、 出席日数が 10日以下	うち、 出席日数が 0日
小学校	1,572人	1,109人 (70.5%)	641人 (40.8%)	67人 (4.3%)	16人 (1.0%)
中学校	2,515人	1,989人 (75.8%)	1,390人 (55.3%)	199人 (7.9%)	48人 (1.9%)
高等学校	1,044人	488人 (46.7%)	173人 (16.6%)	11人 (1.1%)	1人 (0.1%)

- 小・中学校の不登校児童生徒数は過去10年連続増加し、過去最多。
- 在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は、小学校2.0%、中学校6.1%であり過去最高。
- 高等学校における不登校生徒の割合は、対前年度より0.1ポイント減少。
- 「出席日数が0日の者」は、小学校1.0%（前年度1.7%）、中学校1.9%（前年度1.4%）、高等学校0.1%（前年度0.1%）、「出席日数が10日以下の者」は、小学校4.3%（前年度5.5%）、中学校7.9%（前年度8.4%）、高等学校1.1%（前年度0.6%）であった。
- また、「欠席日数50日以上」の者は、小学校70.5%、中学校79.1%、高等学校46.7%、「欠席日数が90日以上」の者は、小学校40.8%（前年度41.7%）、中学校55.3%（前年度57.0%）、高等学校16.6%（前年度16.0%）だった。

※ 「欠席日数50日以上」の者：令和5年度よりの集計をしているため前年度の比較ができない。

図2 学校内外で相談・指導等を受けていない児童生徒（公立小・中学校）



(注) 折れ線グラフ：不登校児童生徒に占める学校内外で相談・指導等を受けていない児童生徒の割合

表2 学校内外で相談・指導等を受けていない児童生徒のうち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていない実人数（公立小・中学校、県立高等学校）

	小学校	中学校	高等学校
教職員から継続的な相談・指導を受けていた児童生徒	431人 (87.4%)	885人 (95.4%)	323人 (99.1%)
教職員・専門家等から相談・指導を受けていない児童生徒	62人 (4.0%)	43人 (1.8%)	3人 (0.4%)

(注) 教職員・専門家等がら相談・指導を受けていない児童生徒の割合：不登校児童生徒に占める割合

図3 学年別の状況（公立小・中学校）

1. 小学校

	不登校児童数	割合	前年度から 継続	割合
1年	118人	7.6%	-	-
2年	154人	9.9%	56人	36.4%
3年	242人	15.5%	97人	40.1%
4年	269人	17.2%	127人	47.2%
5年	359人	23.0%	163人	45.4%
6年	420人	26.9%	226人	53.8%
計	1,562人	100.0%	669人	42.8%

2. 中学校

	不登校生徒数	割合	前年度から 継続	割合
1年	657人	27.0%	210人	32.0%
2年	864人	35.6%	543人	62.8%
3年	908人	37.4%	633人	69.7%
計	2,429人	100.0%	1,386人	57.1%

（注）前年度から継続：前回調査においても不登校に計上された者

小・中学校における状況（公立学校）

【学校内外での相談・指導状況】

- 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない児童生徒は1,421人（35.6%）。
- うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた実人数は1,316人（92.6%）。
- 学校内外の専門家および教職員からの相談・指導を受けられていない児童生徒は、105人（7.4%）。

【不登校児童生徒について把握した事実】

○小学生

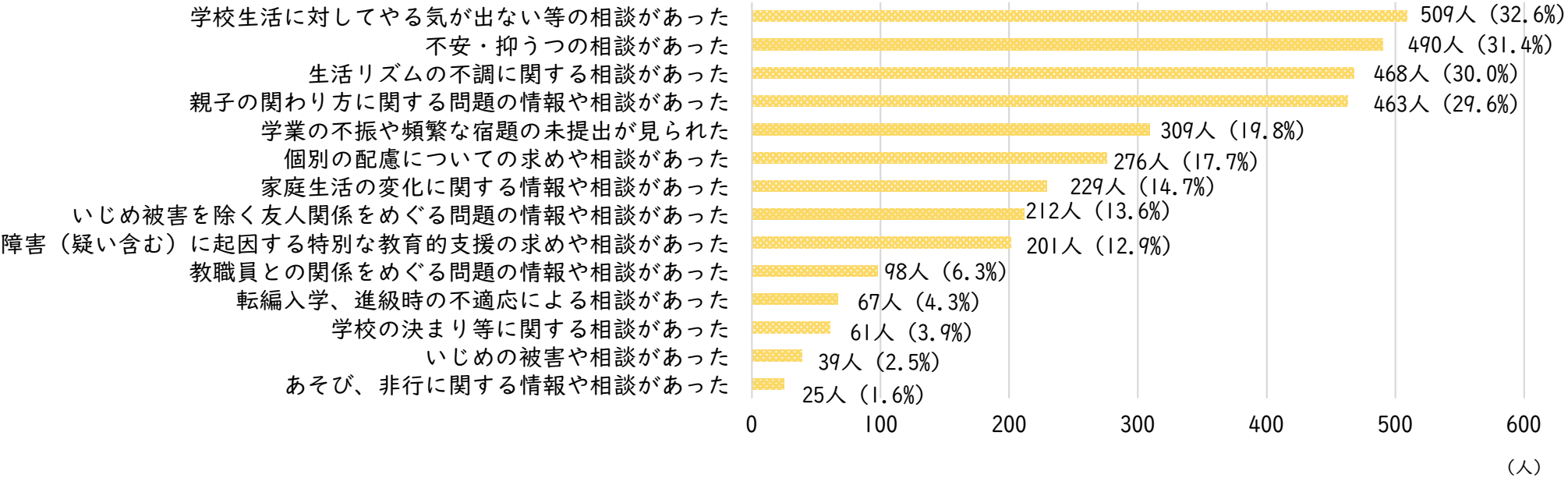
- ・「学校生活にやる気が出ない等の相談があった」（32.6%）
- ・「不安、抑うつ等の相談があった」（31.4%）
- ・「生活リズムの不調に関する相談があった」（30.0%）

○中学生

- ・「学校生活にやる気が出ない等の相談があった」（32.7%）
- ・「不安・抑うつ等の相談があった」（29.9%）
- ・「生活リズムの不調に関する相談があった」（29.4%）

図4 不登校児童生徒について把握した事実（公立小・中学校）（複数回答）

1. 小学校



2. 中学校

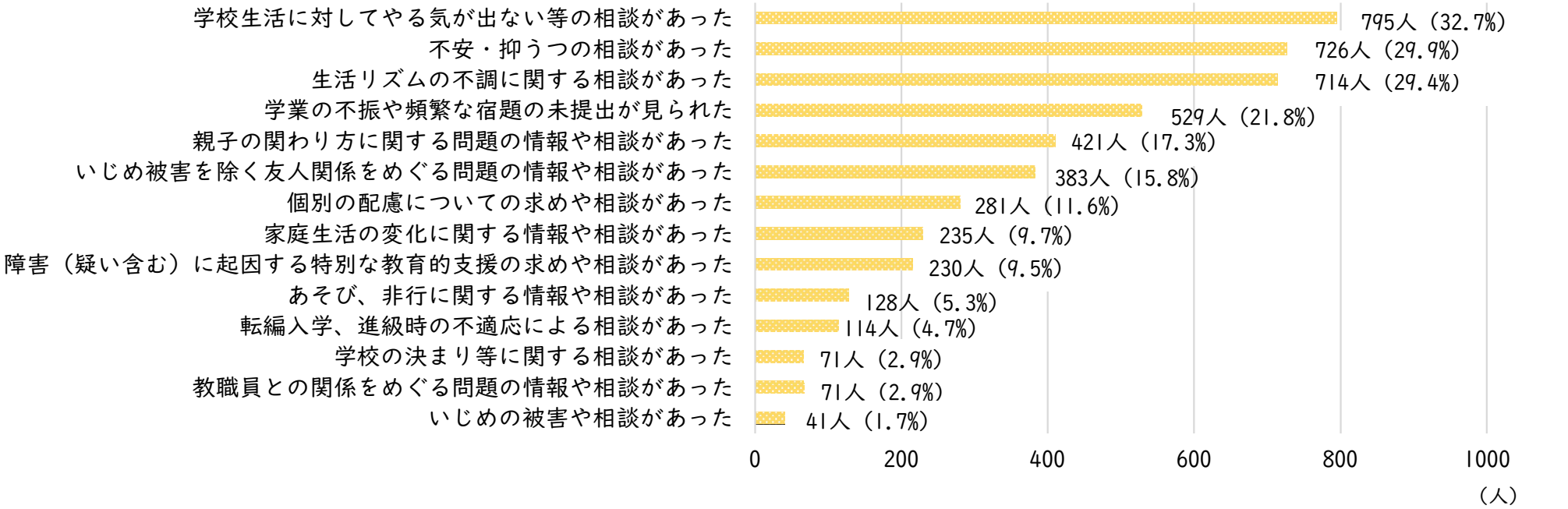
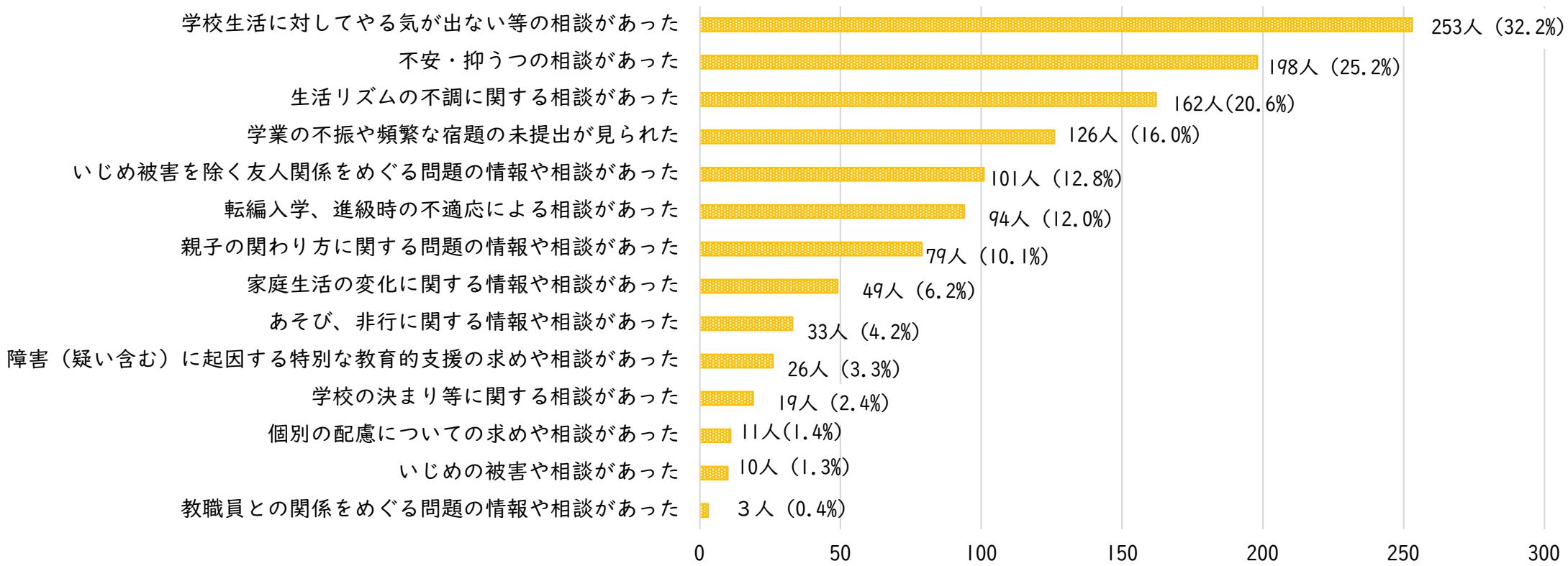


図5 不登校児童生徒について把握した事実（県立高校）（複数回答）



高等学校における状況（県立高校）

【学校内外での相談・指導状況】

- 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない生徒は326人（41.5%）。
- うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた実人数は323人（99.1%）。
- 学校内外の専門家および教職員からの相談・指導を受けられていない生徒は3人（0.4%）。

【不登校児童生徒について把握した事実】

- ・ 「学校生活にやる気が出ない等の相談があった」（32.2%）
- ・ 「不安、抑うつ等の相談があった」（25.2%）
- ・ 「生活リズムの不調に関する相談があった」（20.6%）